

使徒継承

使徒聖トマスから現在に至る

この継承の系譜に連なる

主教*

Garland F. Byers, Jr., J.D., D.D. ‡

諸国民への主教、使徒的委任のもとに

1. 聖トマス、使徒、殉教者 CO

紀元30年頃キリストに召された

聖書に名が記されている：十二使徒の一人として名を挙げられている（マタイ伝福音書10:3）。「わが主よ、わが神よ」（ヨハネ伝福音書20:28）

この使徒継承の系譜は、紀元30年頃の使徒トマスから今日にまで及び、2026年現在で1,996年にわたる。

聖トマスから東方教会のカトリコス総主教 Shimun XVIII Rubil に至る継承は、アッシリア東方教会が保持するカトリコス総主教の名簿に従っている。これは、東方教会が自らの使徒継承を使徒聖トマスにまでたどるのと同じ名簿である。

主教職への聖別は、以下に名を挙げる諸教会を通じて、一人から次の一人へと行われた。

この系譜の主教の中には、聖人としても崇敬されている者がいる。その名の傍らの印は、生涯の聖性のみにかかわる。それはいかなる聖別の有効性にもかかわらない。聖人として崇敬されているか否かにかかわらず、表に挙げたすべての主教は、継承において等しくその位置を占めている。

聖 聖人：英雄的な聖性の生涯を送り、今は神のもとにある者として教会が公に崇敬し、その記憶を暦において記念する人。初代教会では、聖人は信徒とその主教たちの称賛によって認められた。のちには、ローマ・カトリック教会では正式な列聖によって、正教会では列聖（glorification）によって認められるようになった。

福者 福者：ローマ・カトリック教会において、列福された人。列福は聖人としての列聖に先立つ正式な段階である。

C ローマ・カトリック教会により聖人または福者として崇敬されている。

CO ローマ・カトリック教会と正教会の双方で聖人として崇敬されている。

赤 殉教者：信仰のために命をささげた者。

誰が聖人であるかについて、諸教会の見解は常に一致するわけではない。ある教会が、他の教会が崇敬しない人を崇敬することもあり、印はそれぞれの聖人をどの教会が崇敬しているかを示している。

セレウキア・クテシフォン

東方教会。使徒聖トマスをその創立者とし、あわせて、聖トマスがエデッサに遣わした七十人の一人である聖タダイ（Addai）と聖マリを創立者とする。東方教会のカトリコス総主教たち——その主教座ははじめセレウキア・クテシフォンに、のちにバグダードに置かれた——聖タダイ（Addai）からShemon VII Ishoyahbまで。

2. 聖タダイ（Addai）、七十人の一人 CO — 33年頃
3. Aggai — 66年頃
4. 聖 Mari C — 81年頃
5. Abris — 121年頃
6. Abraham I — 159年頃
7. Yaqob I — 190年頃
8. Ahadabui — 204年頃
9. Shahlufa — 220年頃
10. Papa bar Aggai — 280年頃
11. 聖 Shemon bar Sabbae CO 殉教者 — 329
12. 聖 Shahdost CO 殉教者 — 341
13. 聖 Barba'shmin CO 殉教者 — 343
14. Tomarsa — 363
15. Qayyoma — 377
16. Isaac — 399
17. Ahha — 410
18. Yahballaha I — 415
19. Maana — 420
20. Farbokht — 421
21. Dadisho — 421
22. Babowai — 457
23. Acacius — 485
24. Babai — 497
25. Shila — 503

26. Elisha 524
27. Paul 539
28. Aba I 540
29. Joseph 552
30. Ezekiel 570
31. Ishoyahb I 582
32. Sabrisho I 596
33. Gregory 605
34. Ishoyahb II 628
35. Maremmeh 646
36. Ishoyahb III 649
37. Giwargis I 661
38. Yohannan I 680
39. Hnanisho I 686
40. Sliba-zkha 714
41. Pethion 731
42. Aba II 741
43. Yaqob II 754
44. Hnanisho II 775
45. Timothy I 780
46. Isho bar Nun 823
47. Giwargis II 828
48. Sabrisho II 831
49. Abraham II 837
50. Theodosius 853
51. Sargis 860
52. Enosh 877
53. Yohannan II 884
54. Yohannan III 893
55. Yohannan IV 900
56. Abraham III 906
57. Emmanuel I 937
58. Israel 961
59. Abdisho I 963
60. Mari II 987
61. Yohannan V 1000
62. Yohannan VI 1012
63. Ishoyahb IV 1020
64. Eliya I 1028
65. Yohannan VII 1049
66. Sabrisho III 1064
67. Abdisho II 1074
68. Makkikha I 1092
69. Eliya II 1111
70. Bar Sawma 1134
71. Abdisho III 1139
72. Ishoyahb V 1149
73. Eliya III 1176
74. Yahballaha II 1190
75. Sabrisho IV 1222
76. Sabrisho V 1226
77. Makkikha II 1257
78. Denha I 1265
79. Yahballaha III 1281
80. Timothy II 1318
81. Denha II 1336

82. Shemon II 1385年頃
83. Eliya IV 1405年頃
84. Shemon III 1425年頃
85. Shemon IV 1437年頃
86. Shemon V 1497
87. Eliya V 1502
88. Shemon VI 1504
89. Shemon VII Ishoyahb 1539

Shimunの系譜

1553年以降、東方教会が聖アッダイと聖マリの後継者として数えるShimunの系譜のカトリコス総主教たち。Shimun XVIII Rubilまで。

90. Shimun VIII Yohannan Sulaqa 1553
91. Abdisho IV Maron 1555
92. Yahballaha IV 1577
93. Shimun IX Dinkha 1580
94. Shimun X Eliya 1600
95. Shimun XI Eshuyow 1638
96. Shimun XII Yoalaha 1656
97. Shimun XIII Dinkha 1662
98. Shimun XIV Shlemon 1700
99. Shimun XV Maqdassi Mikhail 1740
100. Shimun XVI Yohannan 1780
101. Shimun XVII Abraham 1820
102. Shimun XVIII Rubil 1861

インド

1862年に総主教Shimun XVIIIによってインド府主教に聖別されたMar Abdishoから始まり、各主教はその前に記された主教によって聖別された。

103. Anthony Thondanatt (Mar Abdisho) 1862
104. Luis Mariano Soares (Mar Basilius) 1899

イングランド

1902年にマーシアの主教として聖別されたMar Jacobusから、各主教はその前に掲げた主教によって聖別された。

105. Ulric Vernon Herford (Mar Jacobus) 1902
106. William Stanley McBean Knight (Mar Paulus) 1925
107. Hedley Coward Bartlett 1931
108. Hugh George de Willmott Newman (Mar Georgius) 1945
109. Richard Kenneth Hurgon 1946

スウェーデンとアメリカ合衆国

スウェーデンのBertil Perssonから、この継承を今日に伝えた主教まで。

110. Nils Bertil Alexander Persson 1985
111. Samuel Guido, Jr. 2004

112.

Garland F. Byers, Jr.

東方教会のカトリコス総主教と共有する継承

現在のアッシリア東方教会のカトリコス総主教 Mar Awa III とバイヤーズ主教は、同教会が保持する名簿に従い、使徒聖トマスおよび聖タダイ（Addai）から Mar Shimun XVIII Rubil（1861–1903年カトリコス総主教）に至るまで、東方教会のカトリコス総主教の継承を共有している。Mar Shimun XVIII Rubil は1862年、バイヤーズ主教の系譜に連なる Mar Abdisho (Anthony Thondanatt)を聖別した。

聖職

按手

2008年8月17日、按手により。ペンシルベニア州パーマートンのSt. Paul's Lutheran Orthodox Chapelにて。

主教聖別

2013年4月20日、聖餐の執行の中で按手により。St. Paul's Lutheran Orthodox Chapel（この日はペンシルベニア州スラティントンのAmerican Legion Post 16で集会）にて。

主聖別者

主教 Samuel Guido, Jr.

共同聖別者

Bradley A. Varvil 主教

Michael Byus 主教

James Thompson 主教

按手および主教聖別の証書は、主教聖別の写真とともに、主教についてのページに掲載されている。

奉仕

2013年4月20日、Lutheran Orthodox Church, Inc. において主教聖別を受け、その後同団体において Western North Carolina 教区の大主教を務めた。バイヤーズ主教は現在、同団体に所属していない。

名誉神学博士（honoris causa）、Lutheran Orthodox Church, Inc. より授与、2013年4月20日。

本ページの日本語の聖句は、すべて文語訳聖書（旧約：明治元訳、1887年／新約：大正改訳、1917年、日本聖書協会）から引用しています。いずれもパブリックドメインです。本文：ウィキソース。聖句は抜粋して引用しており、省略箇所は「……」で示しています。

使徒聖トマスのイコン、14世紀。原品はテッサロニキ聖府主教区教会博物館所蔵。 写真：Herbert Frank、出典：Wikimedia Commons、 ライセンス：CC BY 2.0。原画からトリミングおよびサイズ変更を施した。